

# 令和6年6月1日から 水道料金を改定します

今回の改定は、平成26年（2014）以来、10年ぶりの値上げとなります。改定の背景として、水道事業の経営は、主に使用者の皆さまからの水道料金で運営していますが、平成29年（2017）以降水道使用量が約21万㎡減少したことともなう料金収入の減少があります。

## 新旧水道料金比較表

《現行料金（税抜き）1カ月あたり》

区分	基本料金		超過料金
	水量（㎡）	金額（円）	1㎡の金額
家事用	10まで	882	110
営業用	20まで	2,991	183
団体用	20まで	2,329	173
工業用	100まで	15,850	199
臨時用	10まで	1,184	620

《改定料金（税抜き）1カ月あたり》

区分	基本料金		超過料金
	水量（㎡）	金額（円）	1㎡の金額
家事用	10まで	1,211	151
営業用	20まで	4,119	252
団体用	20まで	3,191	237
工業用	100まで	21,745	273
臨時用	10まで	1,625	851

## 水道料金の計算方法《改定後の家事用料金の場合》

《下記計算表により算出された金額に消費税（10%）を加算した金額が請求額になります》

使用水量/月	計算式（税抜き）
0～10㎡	基本料金1,211円
20㎡	基本料金1,211円 + 超過 1,510円（151×10㎡） = 2,721円
30㎡	基本料金1,211円 + 超過 3,020円（151×20㎡） = 4,231円
40㎡	基本料金1,211円 + 超過 4,530円（151×30㎡） = 5,741円
50㎡	基本料金1,211円 + 超過 6,040円（151×40㎡） = 7,251円
100㎡	基本料金1,211円 + 超過 13,590円（151×90㎡） = 14,801円

人口減少や節水機器の普及等による水道料金収入の減少や水道施設老朽化の更新、また災害に強い耐震管に更新するための費用や日々の維持管理に係る費用の増加など、水道運営はさまざまな経営課題を抱えていて厳しい財政状況にあります。生活に欠かすことのできないライフラインを次世代につなぎ、安全な水道水を安定供給していくため、水道料金を令和6年6月使用分から平均37%値上げすることとなりました。使用者の皆さまにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 1、にかほ市の水源は湧き水・地下水・河川

にかほ市上水道の9割以上が湧き水と地下水を使用していて、他市町村に比べ浄水工程や薬品使用量が少なくなっています。水道水は国の基準で殺菌して供給する必要があります。水質が悪いと薬品（次亜塩素酸ナトリウム）の使用量が増え、カルキ臭のする水道水になります。にかほ市の水源は水質良好のため、薬品の使用量を抑えることができ、皆さまに良質な水道水を提供しています。

## 《表2 平成30年度（2018）》

水質項目	仁賀保地区	金浦地区	象潟地区
蒸発残留物（mg/ℓ）	107	98	85
残留塩素（mg/ℓ）	0.26	0.27	0.27
水温（℃）	13.6	14.5	12.8

## 《表3 令和5年度（2023）》

水質項目	仁賀保地区	金浦地区	象潟地区
蒸発残留物（mg/ℓ）	103	88	85
残留塩素（mg/ℓ）	0.23	0.25	0.21
水温（℃）	14.6	15.1	13.9

## 《表1 おいしい水の要件 一部抜粋》

水質項目	要件値	内容
蒸発残留物（ミネラル分）	30～200mg/ℓ（水質基準500mg/ℓ以下）	適度含量だとコクのあるまろやかな味。量が多いと苦味・渋味等が増す。
残留塩素	0.4mg/ℓ以下（水質基準0.1mg/ℓ以上）	水にカルキ臭を与え、濃度が高いと味を悪くする。
水温	20℃以下	高いとおいしくないと感じる。冷やすことでおいしく感じる。

※厚生省（現厚生労働省）1985年より

## 2、水道料金の使い道 〜将来に向けた取り組みを進めます〜

(1) 水道管の更新・耐震化  
にかほ市内には約320kmの水道管があり、古くなった水道管の更新や地震に強い水道管への取り替えを計画的に進めていきます。特に、損傷した場合に大きな影響が生じる大口径水道管の更新や耐震化を重点的に進めていきます。

左の写真は、昭和59年に設置された水道管です。令和5年に漏水があり、工事した際に撮影したものです。材質は塩化ビニル製で経年劣化により破損し、一部地域が断水しました。

ほかにも、40年以上経過した水道管を現役で使用するため、漏水発生の可能性が非常に高くなっています。また、市内で耐震化されていない水道管は約6割あります。順次、耐震性能が高い管種に更新していきますが、今後も危機感を持ち更新計画を進めていく必要があります。



▶40年以上経過した水道管、耐震性能が高い素材に替え、長寿命化を図る

▶経年劣化による縦割れが発生

## (2) 水道施設の機器更新・建物の耐震化

水道管だけでなく、浄水場や配水場、水源取水に使用される機械設備の更新を計画的に進めていきます。施設建物の耐震化を進め、災害に強い安定的な水供給を目指します。また平時においても、毎日委託業者による巡回を行っています。問題が起きる前に早急に対応できる体制を整えています。



▶横根にあるにかほ市最大規模の浄水場

## (3) 水源の維持

井戸から取水している水源は、定期的な洗浄が必要です。地下水を汲み上げると同時に、砂や細かいゴミ等と一緒に吸い込んでしまい目詰まりするためです。安定的な供給を維持するため、井戸内の定期的な洗浄点検を行います。

また、井戸内部の一部が破損した場合、地盤沈下などの事故が発生する危険性があります。そのため、水中カメラ調査で危険箇所が無いか定期点検を行います。

## (4) 水質検査

水道法が定める水質基準検査を毎月行っています。そのほか、ニューズ等で度々取り上げられる消火薬剤等に使用される有機フッ素化合物や、カラムシ駆除等に使用される農薬ネオニコチノイド系の水質検査を自主的にいち早く行っています。にかほ市の水質検査結果は、各庁舎窓口で閲覧可能です。

## 3、人体の水素イオン濃度

人体の水素イオン濃度（pH値）は約7.4とされ、弱アルカリ性です。飲料水はpH7.5程度が人の体になじみ易いとされています。

また、日頃私たちが口にしている食品《表4》の多くが酸性寄りです。アルカリ性が高いと苦味を感じるためアルカリ性寄りの食品は少ないようです。

## 《表4 食品別pH値》

食品類	pH値
レモン	2～3
スポーツ飲料	3～4
トマト	4
炭酸水	4～5
しょうゆ	4～5

## 《表5 各国のpH基準》

国名	pH基準
日本（厚生労働省）	5.8～8.6
欧州連合（EU）	6.5～9.5
米国（環境保護庁）	6.5～8.5

## 《表6 令和5年度（2023）》

平均値	仁賀保地区	金浦地区	象潟地区
水素イオン濃度（pH）	7.2	7.0	7.0

※水素イオン濃度（pH）は「7」が中性で、それより大きいものを「アルカリ性」、小さいものを「酸性」といいます。

## ＝ 問合せ ＝

〒018-0311 にかほ市金浦字笹森107番地  
にかほ市建設部 上下水道課  
☎74-7090 / FAX 32-4510

## 《水にまつわるウンチク》

●日本の地下水は軟水と言われています。

●日本初のミネラルウォーターは、明治時代に平野温泉（兵庫県）から湧き出た炭酸水であるとされ、当時、外国人向けに販売されました。これに、シロップを混ぜて人気になったのが、三ツ矢平野水（三ツ矢サイダー）です。

●国連加盟国193カ国のうち水道水を安全に飲める国は16カ国です。そして、日本の水道水は世界で最も安全な水と言われています。